

# 電気柵の基礎知識

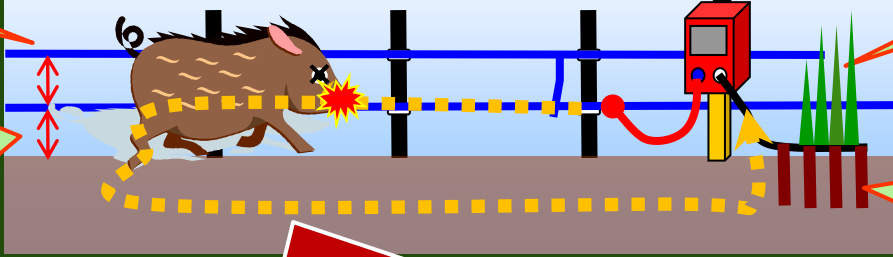
## 電気柵をうまく使えていますか？

電線は支柱の外側（イノシシ側）に張る

草刈りをしないと漏電のもと

電線の間隔は20cm

アース棒は地面にしっかり刺す



動物の体と地面を通して電気が流れると効きます

電気柵を張ってもイノシシに侵入されたら、こんなところに注意しよう。

## 電気柵のチェックポイント

- 電圧は十分あるかテスターで定期的にチェック（電池切れ、配線切れ、漏電はしていないか）



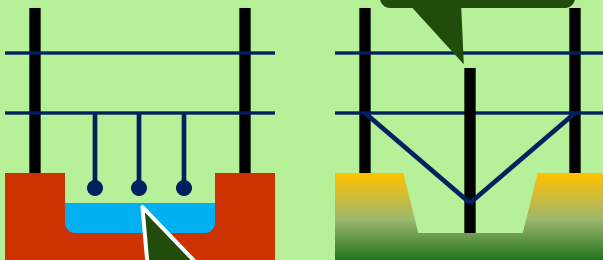
- 「碍子(ガイシ)」は外向き(イノシシ向き)に  
※金属のクリップタイプは、逆向きでも大丈夫です



## 水路や窪地に張るコツ

- すき間を減らす  
下側をしっかり守ろう！

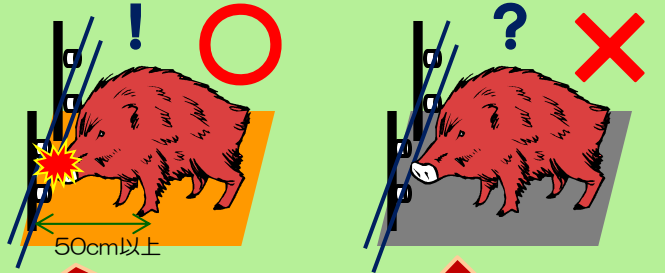
支柱を追加



重り（ナット等）を付けて、電線を垂らす

## 電気をばっちり流そう

- イノシシの足元は電気が流れやすく



通電しやすい土の地面  
（土の地面が柵から50cm以上あると良い）

通電しにくい  
コンクリートや  
アスファルト